

参加者から
大好評！

がんの親をもつ子どもへの サポートグループ 開催のお知らせ



J.CLIMB

自治医科大学附属病院では、

がんの親をもつ子どもへのサポートグループ（CLIMB®プログラム）を開催しています。

がん治療中のお母さま／お父さまのお子さまが対象のグループです。

同じような状況にある子どもたちが集まって、みんなで一緒に絵を描いたり工作をしたり、話し合ったりしながら、自分の状況や気持ちに向き合う力を高めていくことをめざしています。

グループへの参加にご関心のある方は、お気軽に下記問い合わせ先までご連絡ください。

CLIMB®プログラム（Children's Lives Include Moments of Bravery）

アメリカで広く用いられている、がんの親をもつ子どものためのグループワーク

ファシリテーターはこのプログラムを行うためのトレーニングを受けています

《対象となる方》 がんの診断を受け治療をしておられるお母さま／お父さまの
6～12歳（小学生）のお子さま

《実施場所》 自治医科大学附属病院内

《実施日時》 2026年1月・2月の土曜日、全5回（各110分） 10:10～12:00
①1月17日 ②1月24日 ③1月31日 ④2月7日 ⑤2月14日

《活動内容》 親子一緒におやつタイム
子どものグループ（お話、工作、活動タイムなど）
親のグループ（自由な話し合いなど） ※任意参加

《参加費》 無料

《スタッフ》 公認心理師、看護師、医療ソーシャルワーカー、ボランティア など

《実施責任者》 稲田美和子（自治医科大学附属病院 こころのケアセンター 公認心理師）
皆川麗沙（自治医科大学附属病院 看護部 がん看護専門看護師）

* 参加ご希望の方には、稲田より詳しい説明と事前の面談（電話の場合もあり）をさせていただきます。

【問い合わせ先】 稲田 美和子
（自治医科大学附属病院 こころのケアセンター）

E-mail : m_inada@jichi.ac.jp

TEL : 0285-58-7107（がん相談支援センター 月～金 8:30-17:15）

◆子どもにとってのグループの意義◆

子どもたちは同じような経験をしている他の子どもたちと、すぐに仲良くなります。悲しくなったり怖くなったり、時には怒りを感じてしまうのも、普通のことであり、自分だけではないんだということを学んでいきます。グループでのさまざまな活動は、子どもたちが気持ちを抑え込んだり感情に圧倒されたりすることなく、気持ちを安全な方法で表現し穏やかにしていくことに役立つと思います。これまでにグループに参加された方々の声をいくつかご紹介します。

お子さまの声



- ずこうがすきだから、つくるものがたのしかったです。また行きたい（7歳）
- 人形をつくって家にもちかえて、いっしょにおいしいでねたりしている。とてもたのしかった（8歳）
- このプログラムに行って、お母さんやお父さんががんの子どもは自分だけじゃないんだと思えました。工作をしたり、らくがきタイムもたのしかったです（8歳）
- クライムでは色々な工作がとてもたのしかったです。今度、卒業生用のクライムがあったらいいなと思いました（11歳）
- 同じ様なことがあった子どもたちだから、話が分かってもらえてよかった。みんなに自分のことを言うことで自分のことを改めて知れた（11歳）
- 親の「がん」という病気についてよくわかった。スタッフの人たちやみんなと一緒にものをつくり、自分が工夫して気持ちを表現したことを言ったり見せてもらったりしたことがよかったです（12歳）
- 一番最後の、お母さんに手紙を書いたのがよかった。ふだんは恥ずかしくて言えない事もいえたのでよかった（12歳）



お母さま・お父さまの声

- 参加前と比べて顔つきがずいぶん穏やかになりました。親に何でも言ったり聞いたりしてよいこと等教えていただいて、気が楽になったことが大きかったと思います。目に見えて効果もあり、本当に参加させていただけて良かったです。
- ゆっくり自分に目を向けてもらえる時間を与えていただいて、自信を取り戻したのかなと思いました。クライムでの友達は特別な友達のような感じです。
- 飛行機を使っでの参加でしたが、お金にかえられないたくさんの勇気と、同じ思いで過ごしている方々と会話ができ共感でき、子どもたち以上に、私の心の穴がふさがった思いでいっぱいです（夫が治療中）
- 子どもはプログラムを重ねるごとに新たな成長がみられ、最終回の後ちょっとした事にも、私に手を貸してくれたり、とてもうれしく感じています。
- 病気のことを学ぶことで、私との関係がもっと深まったように思いますし、子どもの心から不安が取りのぞかれ、感情の処理・発散も自分なりにできるようになったかなと思います。愛情を持って接して下さったスタッフの皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。この経験は子どもにとって、とても大切な財産になるでしょう。
- 気心の知れた仲間ができました。この活動の普及定着に期待してます（妻が治療中）